



ロータリーは
機会の扉を開く

2020-2021年度

会長 青山 圭一

幹事 西村 敏信

魚津市美術展鑑賞



第3234回例会は、恒例の魚津市美術展を鑑賞した。同展は節目の60回目を迎え、魚津RCが後援している。審査員や運営委員を務めた6氏の解説に耳を傾けながら、力作の数々をじっくりと見て回った。



【工芸】
住田繁喜氏



【工芸】
浦田 勤氏



【写真】
長田達明氏



【書】
堀内賢明氏



【絵画】
鷹嘴 直氏



【絵画】
菅野純子氏

ゲスト・ビジター



米山奨学生
シワコツティ
ソウガット君

出席報告

本日出席 16人
欠席 11人
出席率 62.50%

第3232回のメーク
アップ 0人
第3232回の出席率
79.16%→79.16%

委員会報告

平崎暉夫職業奉仕委員長

来年1月後半の例会で職業奉仕表彰を行いたい。推薦用紙を送るので、11月末までに提出していただきたい。

出席報告

本日出席	14人
欠席	13人
出席率	58.33%
第3233回のメイクアップ	0人
第3233回の出席率	79.16%→79.16%

会長あいさつ

青山圭一会長



新型コロナウイルスの陽性者が昨日(12日)、全国で過去最多になった。第3波が疑われる。県内は無風の状態だが、皆さんお気を付けください。

委員会報告

茶谷勝ロータリー財団常任委員長

ポール・ハリス・フェローへ積極的に積み立てていきたい。最近入会した方には理解不足もあったと思うが、世界的活動であり、来週からボックスに封筒を入れていきたい。ポリオ指定などということができ、寄付の3年後にはRCの活動に50%が返金される。

ニコボックス報告

川岸芳雄君

昨日、石川県高校野球一年生大会で孫のチーム、航空石川が星稜に勝ち優勝しました

青山圭一君

富山労災病院 平野典和院長 本日はよろしくお願いたします

米山奨学生だより



シワコッティ・ソウガット君は11月5日、魚津市六郎丸の果樹園で特産リンゴの収穫体験をした。故郷ネパールの高地で育つリンゴは玉が小さく、丸々とした魚津のリンゴを手にとり。果汁たっぷりのジュースも堪能した。

ゲスト卓話「沿革と最近の活動」



富山労災病院長 平野典和氏

富山労災病院の平野典和院長がゲスト卓話で登壇し、地域包括ケア病棟や入退院支援センターの新設など最近のトピックを紹介した。新型コロナ患者への対応、魚津市・金沢医科大学との子宮頸がん共同研究についても現況をかみ砕いて話した。

昭和30年に40床で開院し、平成30年2月に新病院がグランドオープンした。医師は38人いるが、本来は倍の数が必要だ。近隣病院との医療需要のシェアは黒部市民が58、労災が27%。地域の救急対応は一生懸命やっている。

新川医療圏は人口がどんどん減っていくが、75歳以上人口はむしろ増えていく。自宅になかなか帰れない患者が多く、今年2月に地域包括ケア病棟を設けた。入退院支援センターも新設して5人を専属で配置し、近隣市町を精力的に回ってもらった。専門的知識で困っているケアマネジャー向けの勉強会を先月開いた。将来的に、排尿障害、床ずれの専門外来をつくりたい。

コロナ対応では、8月に魚津市で二つのクラスターが発生し、PCR検査をドライブスルーで実施し、ゾーニングを徹底して入院患者も受け入れた。簡易診察室による発熱外来もつい先日設けた。

子宮頸がんは予防できるがんだが、2000年からワクチン接種が止まってしまっている。患者数が増える一方で検診率は低い。魚津市・金沢医科大学との共同研究を進め、患者数をゼロにして魚津モデルをつくれぬか。時間をかけて経緯を見ていきたい。

